

令和元年度第1回東大阪市立体育館運営審議会 会議概要

日 時：令和元年7月29日（月） 午後2時～

場 所：東大阪市立総合体育館 研修室

出席者：村田委員長、前島副委員長、井上委員、斎藤委員、西野委員、塩路委員、

清水委員、水谷委員、川口委員、土屋委員（計10名）

（欠席：筒井委員、松澤委員、土方委員）

会議内容

事務局挨拶 福原部長

委員長挨拶 村田委員長

(1)令和元年度の体育館の運営について（事務局より説明）

東大阪市立総合体育館、東体育館を運営している指定管理者について

東大阪市立総合体育館、東体育館の概要

市立総合体育館の利用状況、自主事業の状況、事業報告及び事業計画

市立東体育館の利用状況、自主事業の状況、事業報告及び事業計画

委 員 自主事業の広報や周知についてはどのような方法で行っているか。

事務局 市政だよりや、SNSからの発信、館内掲示、市の関連施設へチラシの設置をするなどの方法で、主に約一ヶ月前を目安に宣伝を行っている。

委 員 各室の稼働率向上を考えると、1人からでも参加できる自主事業を十分に活用して頂きたい。

(2)東体育館の休館日臨時開館について（事務局より説明）

(3)令和元年度体育館整備事業について（事務局より説明）

委 員 小アリーナと武道場の間の間仕切りが故障し、ひとつづきに出来ないようになっている。いつなおるのか。

事務局 昨年度より財政当局へ修繕にかかる予算要求等もしているが、より緊急性の高いものから予算がついている状態。小アリーナと武道場を一体として使用する団体様が少ないと聞いてはいる。

委員 具体的にどのような故障か。

事務局 天井にレールと滑車があり引き出す形のパーテーションになるが、動かなくなっている。端の1、2枚のみ稼働できるため部屋の行き来は出来る。これまでもレール、滑車の故障箇所の修理は逐一行ってきたが、各部品の調達が不可能になったため、レール自体から全て取り替える方法になってしまう。

委員 東体育館のバドミントン個人利用はどれくらいあるか。

事務局 多くて5人参加。コーチ等はなく、場所貸のような形になる。他種目のソフトバレー7、8人、卓球は20人

委員 もし停電したときは自家発電で照明をまかなうのか、また点検などは行っているのか。

事務局 非常用バッテリーで照明がつくようになっている。点検もおこなっている。

委員 災害時の職員の対応は決まっているのか。

事務局 地震の時は屋外の広場で誘導する。休館日等を利用し消防職員指導の元、年2回スタッフ2～30人で訓練を行っている。

委員 独自の備蓄物資は置いているか。

事務局 独自の物資はないが、市に届く災害時物資配送センターとなっている。